

(鹿児島郡吉田町東佐多浦小山)

位置と環境

本遺跡は、吉田町の役場から北北東側へ約3kmの位置に所在する。思川の一支流により開析して生じた谷底平地に開ける東佐多浦の麓集落から、鹿児島市へ通ずる県道沿いの山中で、近くに吉田町立体育館がある。

遺跡の東側には、思川に注ぐ谷川によりつくられた溪谷に通じる小路があり、かすかな視界が開ける。南、西、北側は、標高約130m～160mの山々が三方を囲み、その間に形成された盆地状の小平地は、東側の谷添いの路と連なり北西側へ通じている。

調査の経緯

本遺跡は、九州縦貫自動車道建設工事に伴って日本道路公団九州支社鹿児島工事事務所の依頼を受けた県教育委員会が、昭和43年・44年と、46年1月の分布調査により発見された縄文時代の遺跡である。

遺跡は、北側が一段高く二段になった畑地で、調査は、県教育委員会が調査主体となり、昭和46年11月6日から昭和47年2月10日にかけて、本調査を実施した。調査対象面積は、1,050㎡であった。縄文時代の早期を中心に、古代から中世にかけての複合遺



第1図 小山遺跡の位置

跡であることが判明した。

遺構と遺物

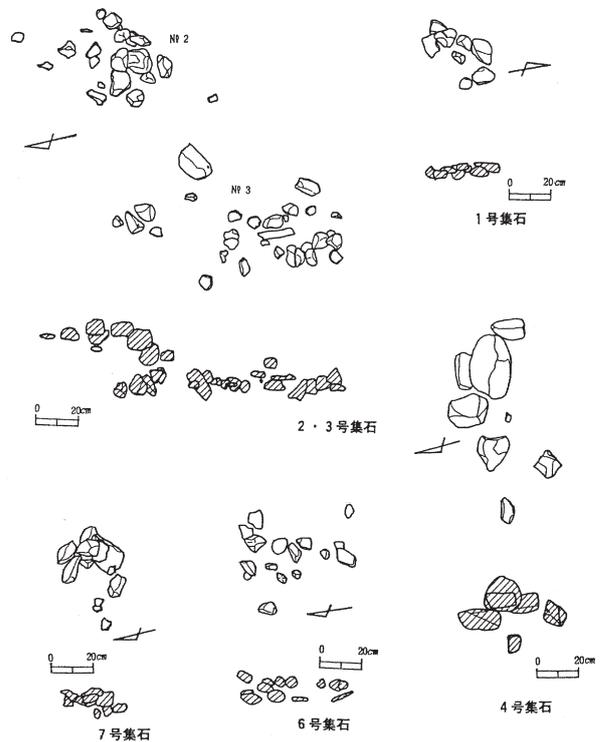
本遺跡は、縄文時代の早期を中心に、前期・中期・後期・晩期、古墳時代、古代、中世などの遺物や、縄文時代と歴史時代の遺構が発見されている。

縄文時代の遺構には、早期の吉田式土器に伴う集石遺構や、塞ノ神式土器に伴う集石遺構が検出されている。また、歴史時代では集礫、ピット群、礫列などがある。

縄文時代の集石遺構は、遺跡の中心部から南側にかけて22基が検出された。これは、13基が塞ノ神式土器に、9基が吉田式土器に伴うことが確認されて



第2図 小山遺跡の地形図



第3図 小山遺跡の集石遺構

いる。この集石には、安山岩の角や円礫を使用し、表面は赤化してまろく、破碎しているもの、土器が礫中に混入しているものなどがあり、礫の重層するものは稀で掘り方も確認されなかった。

集石遺構の分布をみると、塞ノ神式土器に伴うものは、遺跡の南側地区を中心に礫が散在することなく検出され、吉田式土器に伴うものは、土器が濃密に分布する遺跡の北側及び東側地区より少し離れた北側地区に、まとまりを欠き使用した礫も小形のものを中心に集中している。

出土した遺物には、縄文時代の吉田式土器をはじめ、前平式土器、石坂式土器、円筒形土器、塞ノ神Aa式土器、塞ノ神Ab式土器、塞ノ神Bd式土器、塞ノ神系土器、轟B式土器、深浦式土器、春日式土器、岩崎上層式土器、協和式土器、指宿式土器、晩期の土器といった多種のものが出土している。

一方、縄文時代の石器には、石鏃、特殊石器、石匙、スクレイパー、剥片石器、剥片、削器、石槍、石核、砥石、石、石皿などがみられる。

縄文土器には、縄文早期から前期、中期、後期、晩期と全時期にわたる土器が出土し、本遺跡が当時の生活に適した地域であったことが知られている。

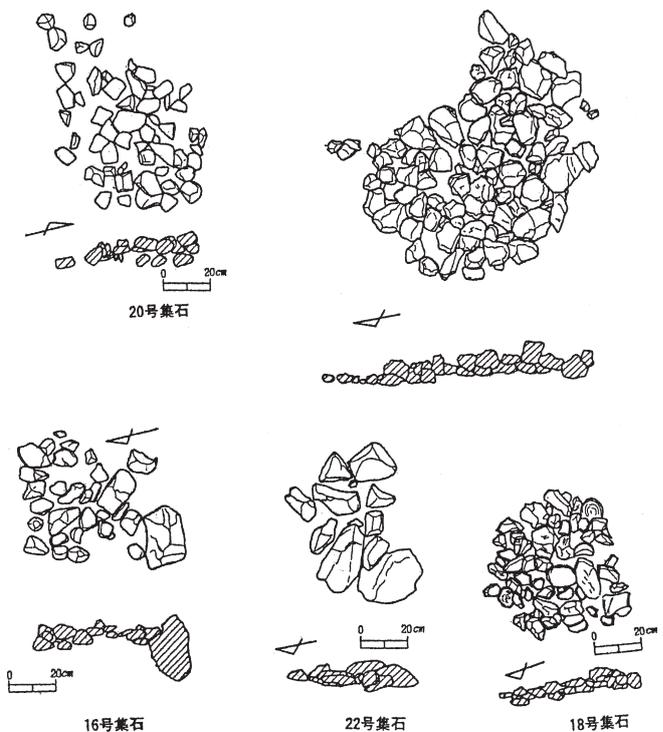
特に、吉田式土器・塞ノ神式土器は、他の縄文時代の時期の遺物に比べると多量に出土し、その出土状況からこの時期が本遺跡の盛行時期であったことが把握できている。

歴史時代に伴う遺構には、長径4m程度の長楕円形の掘込みの中に大小の角礫が多数検出された集礫をはじめ、物跡や杭列として復元はできていないが、遺跡の南側を中心に多数の柱穴を検出し、出土遺物からみて中世のピット群と考えられている。

また、遺跡の西側の南北にかけて礫列などが検出され、礫は北に向かうほど散在し、南側では大小の礫が無造作に積まれていたものの、列としては整然としていた。

このほか、柄穴をもつ台座様のもの、蓮弁を上面に刻む台座なども出土し、中世寺院の存在をうかがわせている。

古墳時代や歴史時代の遺物には、古墳時代の成川式土器、古代から中世にかけての青磁、白磁、染付、



第4図 小山遺跡の集石遺構

須恵器、石鍋、陶磁器、台座、こうがい、古銭などが出土している。

特徴

本遺跡は、縄文時代早期の吉田式土器に伴う集石、塞ノ神式土器に伴う集石、歴史時代では中世の集礫、ピット群、礫列などの遺構を検出した。

縄文時代は、2型式に伴う集石を検出し、それぞれの形態に違いが確認されている。この時期を中心に遺物が多量に出土していることは注目される。また、住居跡や柱穴などの定住を示す遺構は全く検出されていない。このことから、狩場跡や一時的な居住地としての可能性が強い。

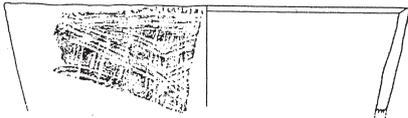
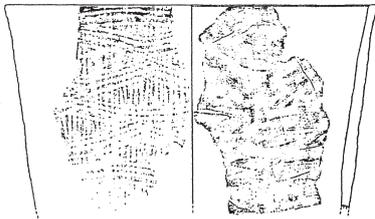
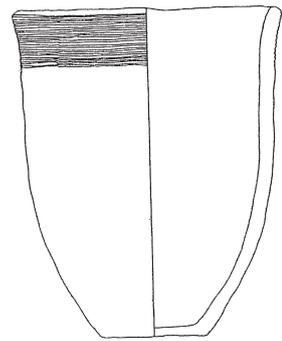
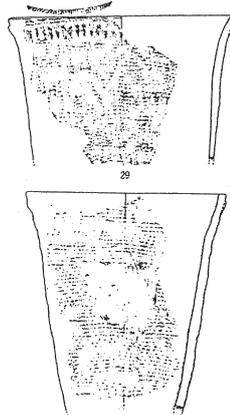
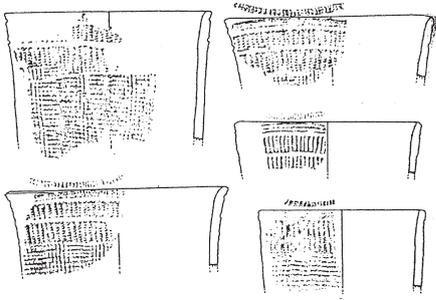
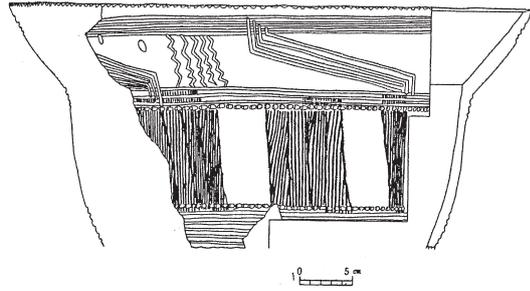
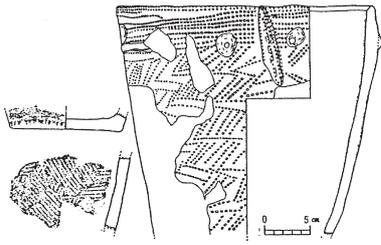
歴史時代では、復元するまでに至らなかったが、遺構や遺物から16世紀ごろの廃寺跡が想定されている。

資料の所在

出土遺物は、鹿児島県立埋蔵文化財センターに保管されている。

参考文献

鹿児島県教育委員会1982「小山遺跡」『鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書』20 (立神次郎)



第 5 図 小山遺跡の出土遺物



写真 1 遺跡遠景



写真 2 縄文早期集石